

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1116号
2009年3月22日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇3月の代祷・信施奉献先

▽東京教区神学生のため(大斎節第1主日)▽聖公会生野センターのため▽教区青少年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽キックスクール(幼稚園)のため

▽教区教役者聖餐式毎月実施

へ 09年教役者会幹事会(幹事長・須賀義和司祭)では月に1度は教役者が集まり共に祈りをささげる時を持ちたいと、今月より毎月第4水曜日10時半から聖アンデレ主教座聖堂で行うこととした。第1回は25日(聖マリアへのみ告げの日)。司式は植田仁太郎主教。

▽各教会青年支援担当者の集

い 信仰と生活委員会後援の青年支援部会による第1回を、3月28日(土)15時から神田キリ

今週・来週の予定 3月22日～4月4日

- 22(日) 大斎節第4主日
城南G教会協議会
(聖オルバン)
- 23(月) 正義と平和協・運営委
- 24(火) 銀座朝拝会
- 25(水) 教役者聖餐式(主教座)
- 26(木) 山手G牧師協議会
(聖愛)
人権委員会
(聖バルナバ)
- 29(日) 大斎節第5主日
下町G教会協議会
(神愛)
- 31(火) 芝公園～特別委員会
- 4月
- 1(水) 人権:日の丸・君が代
エルサレム教区協働委
員会
- 2(木) 下町G牧師協議会
(聖ルカ)
- 3(金) 広報委員会

スト教会で開く。それぞれの教会の青年活動や青年たちの現状を分かち合い、今後どのようにこのネットワークをいかしていくことができるか、話し合いと懇親会。青年支援担当不在教会の場合は、青年活動に理解・協力できる方なら年代を問わず参加可。照会Ⅲ03(3550)7043 聖ルカ・上田憲明司祭。

【大斎節公開プログラム】6

▽聖アンデレ教会・浅草聖ヨハネ教会で講壇交換 次3月29日の主日、両教会の牧師(大畑喜道司祭・下条裕章司祭)がそれぞれ礼拝奉仕の場を換えて交流をはかる。

◆とこしえの平安

3月4日 三好スミ子(97)
聖アンデレ

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

朝に、車の量が多くなる杉並から世田谷に通じるぬけ道がある。その道の横断歩道に毎日、緑のおばさん(学童擁護員)が立って、横断する子ども達を守っている。その方は一人一人の子どもにも「おはよう！」と声をかけ、横断歩道の信号を無視して走って渡ろうとする子どもを追いかけ、両手で抱きしめて安全な歩道に連れ戻している。

祈り

司祭 高橋 顕

《恵みに生かされて》

「祈りが足りない、もっと祈らなければ」と。自分の考えに基く決断や行動は大事であろう。しかし、祈りが足りない。

「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。」

ある日、私はいつもより早い時刻にその場所を通った。まだ登校する子ども達はいない。横断歩道の傍に小さな屋根に覆われたお地藏さんが立っている。その方は、脇に黄色い小旗を挟んで両手を合わせ、お地藏さんの前に立って、じっと祈っていた。子ども達の安全と幸せを願い、

今日の一日が良い日であるようにと、祈っておられるのであろうか。その方は毎日、子ども達が登校する前に、そのように祈っておられる。私はその方の、立ってじっと祈っておられる凛としたお姿を、予期せず初めて目撃した時、はつきり気づいた。「私は祈りが足りない、もっと祈らなければ」と。自分の考えに基く決断や行動は大

(阿佐谷聖ペテロ教会牧師)

【人事】

解任 3月31日付
任命・委嘱 4月1日付

司祭 関 正勝

定年により退職 目白聖公会
協力司祭としての勤務を解く

司祭 木下量熙

千住基督教会牧師解任 主教
座聖堂付、千住基督教会勤務
命令

司祭 長谷川正昭

東京聖十字教会管理牧師解任
千住基督教会管理牧師任命

司祭 須賀義和

東京聖十字教会副牧師解任
東京聖十字教会牧師任命

司祭 井口 諭

月島聖公会管理牧師・月島聖
ルカ保育園チャプレン解任

東京聖マルチン教会管理牧師

任命

司祭 神崎雄二

月島聖公会管理牧師・月島聖
ルカ保育園チャプレン任命

司祭 山野繁子

東京聖マルチン教会管理牧師
解任

司祭 成成鐘

(ソク・ソクジョン)

大韓聖公会釜山教区より宣教
師として受入れ、聖公会神学
院へ出向命令

司祭 朴美賢

(パク・ミーヒョン)

大韓聖公会釜山教区より宣教
師として受入れ、協力司祭と
して勤務命令

聖職候補生 倉澤一太郎

聖パウロ教会勤務解任 聖愛

教会勤務命令

聖職候補生 ジョン・ストーゼ
ンバック

東北教区宣教協働者解任 聖
マーガレット教会勤務命令

聖職候補生 塚田重太郎

聖アンデレ教会勤務命令

司祭 今井丞治

八王子地区ミッショナー委嘱

司祭 岩前 宏

八王子復活教会嘱託委嘱

司祭 小笠原愛作

小笠原聖ヨージ教会嘱託委嘱

司祭 竹内謙太郎

東京聖テモテ教会嘱託委嘱

司祭 吉村庄司

(社福)滝乃川学園嘱託チャ
プレン委嘱

*嘱託委嘱は法規第53条第2項
に基づき任期を1年とする。

【クローズアップ】⑧

世界祈禱日 ～私たちは多く
いても、キリストにおいて
一つの体です～

さまざまな歴史や言語・伝統
を持つキリスト者女性が、国や
教派を超えて集い、共通テーマ
のもとに、共通式文で礼拝を守
る世界祈禱日：。毎年、3月第一
金曜日を中心に、約170の国
および地域で、苦しみと喜びを
分かち合い、祈りを献げている。

国内主催の日本キリスト教協
議会(NCC)女性委員会は、4
年に一度の国際委員会出席、
ニューヨークにある本部との連
携、礼拝式文翻訳・編集制作及び
配布・国内開催諸準備を経て、全
国で当日を迎える。

「私たちは多くいても、キリ

ストにおいて一つの体です。パ
プアニューギニアからのメッ
セージ」をテーマに、今年の東
京集会を3月6日(金)聖パウ
ロ教会で開催した。3百人を超
える(聖公会54人)参加者は、
80の言語を持ち、最も多種多
様な人々の住む国の一つと言わ
れる、パプアニューギニアへと
招かれ、彼らの試練、恐れ、希
望へ心を寄せた。

神崎和子司祭(大森聖アグネ
ス教会牧師)は、メッセージの
中で、この国の自然破壊や人々
の貧困を生み出した日本企業な
どによる森林伐採に触れ、「世の
中に蔓延する強欲から解放され
るために、私たちはキリストに
よって一つとなり、そのことか
ら神様によって力づけられ、環

境を変えることができますよう
に」と祈られた。満席の聖堂は
一つにされていた。

本年担当教派の在日大韓基督
教会・日本聖公会とともに、カ
トリック・日本基督教団・日本
福音ルーテル・ICUなど11教
団教派が参加。当日会場での献
金は34万2,331円で、全参
加国や地域からの献金の奉献先
は国内外30数箇所及ぶ。

礼拝に続くアピールタイムで
は、救世軍の女性部長から、JIC
A(国際協力機構)との協力事
業で行った。パプアニューギニア
の自立支援報告、NCC女性委
員会委員長挨拶、聖公会東京教
区エルサレム協働委員会の集会
案内がなされ、閉会した。

「取材・広報委員会」